

寺報

No.634

令和2年6月

蓮華寺
發行

御聖訓

法華經の文字は六萬九千三百八十四字、
 一々の文字は我等が目には
 黒き文字と見え候えども、佛の御
 眼には一々皆御佛なり。

『本尊供養御書』



(解 説)

お釈迦様は、自らの数ある教えの中で『法華經』を以て結論とするとお説きになりました。

つまり、仏教の本来の目的であります衆生の救済は総て法華經の中に集約されていると教えられたのです。

ですから、お釈迦様の命は『法華經』そのものであり、『法華經』の魂はお釈迦様の総てなのです。

だから、我々が毎日『法華經』の文字を誦読しているという事は、実はお釈迦様を拝み仰いでいるという事になります。

この事は、我々が実際に生きていますお釈迦様に、毎日お会いしているという事と同じなのです。

日蓮大聖人は、これほどまでに素晴らしいお力のあります『法華經』を何故人々が捨てて、他の經典にすぎることかという事に疑問を持ち、『法華經』信仰の重要性を説く為に立ち上がったのでした。

そして、『法華經』を命がけて信仰するという意味の『南無妙法蓮華經』のお題目を唱え、受持する事が最も大切であり、我々を救済してくれる唯一の方法であると力説したのでした。

檀信徒研修会のお知らせ

☆六月二十七日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)』と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂「イス席です」

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

(注)研修会は休まず行いますので、ご参加は各自ご自由に自己管理のもとご参加下さい。

蓮華寺

大本堂

『須弥壇』

『鬼子母神・妙見様御厨子』

『大黒様御厨子』

完成のお知らせ

来年がちょうど日蓮大聖人の「御生誕」八百年に当りますが、その記念事業としまして、修復されてしまった大本堂御寶前の「須弥壇」(前机)と両脇にお祀りしています「御厨子」の工事が完了致しました。コロナウイルス感染拡大の影響で、魂入れは五月一日の「盛運祈願会」の中で、当日の参拝者と僧侶のみで執り行いました。

なお、ご寄付を戴きました皆様と共に出来ませんでした事を深くおわび申し上げます。

完成品は、九十四年前の当時のものと同じく復元されましたので、どれも素晴らしく輝いて感動するものに仕上がりました。

どうぞ、皆様も参拝の折には拝観して戴きたいと思えます。

今般はとも有り難うございました。

護持会総会中止のお知らせ

お知らせ

例年五月に開催される予定でした、蓮華寺護持会役員(評議員)によります総会が、今般の新型コロナウイルスの感染拡大を考慮しまして中止となりました。よって、平成三十一年度の収支決算と令和二年度の収支予算は去る四月十六日に開催されました役員(常任評議員)会の決議を以て決定させて戴きました事をご報告致します。

なお、決議されました報告書は、お寺の玄関入口に「護持会からのお知らせ(新年度版)」と共に置いてありますのでお持ちになりご覧下さい。

また、皆様のご尽力によりまして、三月現在の正確な会員数は【四、七〇八名】となりました。

誠に有り難うございました。

しかし、まだ昨年度の会費の未納の方もかなりありますので、今後とも檀信徒の皆様にご協力戴きたいと思えます。

また、中には檀家であっても護持会には加盟しないと

いう方もいるようですが、是非ご協力下さいますように重ねてお願い致します。

皆様が納めました会費は、蓮華寺の維持だけに止どまらず、広く日蓮宗々門の発展の為にも有効に使われています。

どうか檀信徒の皆様も、この点をお踏まえになりまして、今以上に護持会へのご支援をよろしくお願い致します。

護持会費・・・年額六、〇〇〇円【月五〇〇円】以上

②特別ご協力戴けます方には、上限はありません。

※お寺からのお願い

お葬式・ご法事・ご祈祷・霊断等のお申込みは、必ずお寺と打ち合わせの上、日時を決めて下さい。

また、住所変更やお引越しがあつた場合もご連絡下さるようお願い致します。



護持会 『常任評議員』の紹介

- 【会長】 山本 基
- 【副会長】 山谷 清文・渡邊 文教
- 【監事】 阿保 廣志・小野 豊秀・渡邊 栄
- 【理事】 渡邊 學・佐藤 忠義・成田 葉子
- 山本 治男・奈良 重徳・白取 淳悦
- 山田 兼補・小野 正春・杉淵 昌三
- 安田 武勝・古谷 徹・小枝 金治
- 石郷岡総一郎・渡邊 清光（新任）
- 【会計】 川越 大

お坊さんの紹介

今年も、住職以下五名の少ない僧侶で頑張つていきますので、どうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。



- 【住職】 角田 堯淳 【役僧】 對馬 章文
- 【執事】 加藤 篤宏 塙 堯尊
- 【顧問】 角田 堯專

蓮華寺事務員の紹介

- 【事務長】 齊藤 豊
- 【事務員】 川越 大・川越美由紀・五十嵐宣人

『靈断』のおすすめ！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『九識靈断法』にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。なお秘密厳守にて、宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

『提灯』の急募！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に掲揚します『提灯』（トロー）を限定で募集致します。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千元となりますので、初年度のみ一万円となります。

日蓮大聖人の女性観

古来より、女性には五障三従があるといわれてきました。三従とはいわゆる父、夫そして子供には従つていかねばならないという事です。

今ではごく当たり前になっていきます男女平等もその当時は考えられる事すらなかったのです。また女性は、仏教でいう高い地位の梵天王・帝釈・魔王・転輪聖王・仏身になれない五つの障りがあるといわれ軽視されていたのです。

今でもその風潮がなくなつたとはいえませんが、ましてや武士が支配する鎌倉時代の当時では想像以上に低かつたと思われまます。

そのような時代に日蓮大聖人は法華経の提婆達多品の中に「わずか八歳の幼い龍女でさえも、悟りを求める心を起こす事によって即身成仏した」と説かれているのに注目しました。

大聖人はこの【龍女成仏】こそが、お釈迦様が女性の成仏のお手本を示した唯一の御教えであると重視し、「法華経こそが末代の女人成仏往生の道をふみ開けた

るべし」と感動なされたのでした。

大聖人以前にも、浄土宗の開祖である法然が「一心に念仏を唱える事によって女性も成仏出来るであろう」と提唱していました。

しかし、大聖人は「その事を立証する教えが、浄土経典の中に説かれていなければ、それは無理である」と批判しました。

つまり、お釈迦様が説かれた御教えの中で、女性の救済また成仏が説かれた経典は法華経以外になかったのです。

大聖人は、法華経で【龍女成仏】が説かれた事によって、お釈迦様の救済は女性のみにとどまらず、末法の総てのものに対して働きかけられたものと、主張されたのでした。

それは、老若男女、身分の上下、能力の有無、職業の貴賤に関係なく、この世の命のあるものは総て成仏が出来、それも煩惱を持ったまま成仏が出来るのであると説き、その為には我々がこの法華経を持ち、一心に『南無妙法蓮華経』のお題目を唱えていかななくてはならないと教えられたのでした。

大聖人には、多くの女性の信者がありましたが、これ

らの婦人の家庭やその状況にに応じて、事細かに教訓を説き、慰めのお手紙を送られ女人救済の道に尽力されたのでした。

その中に、「今私がこの世に人間として命を授かり、こうして法華経を学び信仰する事が出来たのは、父と母がいて、立派な国土があつた事、またこの社会を築いている一切衆生がいたお陰なのです。

その中でも、特に母の情けというものは有り難いもので、この母の恩に報いる為にも、この世に生を受けた一切の女性にお題目を唱えてもらい、そして成仏させて上げたいと思います。」と書き残されています。

大聖人は、常にお母さんを女性の模範と見ながら、一切の女人の成仏こそは母親へのご報恩であると説かれたのでした。

日蓮大聖人は、このように温かいお心を持ちまして、いつも女性を見守っていられたのです。

有り難い事です。



『位牌壇』の募集!

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも大丈夫です。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。ですから、三席から特席にも上がれます。

詳細は事務所まで!

六月の行事

一 日(月)『盛運祈願会』

午後一時より

・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。

・ 必ずお勤めに参拝し、お守りを交換しましょう。

・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(土)『日蓮大聖人のご命日』 午後一時より

・ お経 如来神力品第二十一 (訓読・日本語読み)
如来寿量品第十六 (真読・漢字読み)

・ 日蓮大聖人様へのご報恩の為に参拝しましょう。

二十七日(土)檀信徒研修会【唱題行】午後七時より

(注)当山の各行事や朝のお勤めまた研修会は、お座り戴くイスの間隔を開け、全員マスク着用で行っていますので、ご心配なさらずご参拝下さい。

☆奉仕のお知らせ

*今月はご奉仕戴く行事はありません。

どうか、ご健康に留意してご信仰をして下さい。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春

教宣部長・杉淵昌三

『聖徒団会員』募集!

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の援助などに活用します。会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

十三日のお勤め

(日蓮大聖人の月御命日)

に必ず参拝しましょう!
毎月十三日

午後一時より

来月のお知らせ

鬼子母神大祭

七月四日(土) 午後六時半より



鬼子母神

法 話：青森県教化センター長
つがる市要心寺住職

加藤知宏上人

* 鬼子母神は家内安全・諸願成就を叶え、また子供の発育を育む大切な善神です。

* 檀信徒の皆さん、小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方も必ずご参拝下さい。

- 一 般 御祈願・・・千 円 (読み上げ・お札)
- 特 別 御祈願・・・二千円 (読み上げ・木札)
- 一 般 御法楽・・・千 円 (読み上げ・お札)
- 鬼子母神御神体・掛け軸の御法楽・・・二千円
(読み上げ・お札)

⑨ コロナウイルス感染拡大の影響はあると思いますが、お勤めは行いますので、ご参拝は自己管理のもとご自由にお願ひ致します。